



## 7月1日（日）2018年第1回日本語能力試験 世界各地で55万人が挑戦！海外の応募者数は4万7000人増加

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、2018年7月1日に、海外40の国・地域、135都市において、日本語能力試験（JLPT）を実施します。

この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し、認定する試験としては世界最大規模のもので、毎年2回実施されています。今年で34年目を迎え、試験を実施する国・都市も年々増加しております。昨年同時期の試験と比べて、海外では約4万7,000人、日本国内でも約3万2,000人応募者が増えました。特に海外では、引き続き東南アジア（25%増）や南アジア（38%増）での増加が目覚しく、また最大規模の実施国である中国をはじめとする東アジアでも例年以上に増加（10%増）しております。

### ■2018年第1回 日本語能力試験 概要

【実施日】 2018年7月1日（日）

【応募者数】 54万5,760人（海外約36万1千人／日本国内約18万4千人）

※前年度同回から約7万9千人（17%）増加。2017年度第1回試験は約47万人（うち海外約31万人）

※国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施。

【海外応募者数上位国・地域】 上位3か国・地域は、中国、韓国、台湾。その他の国・地域では、ミャンマー、フィリピン、インドの増加が顕著。

【海外応募者数上位地域】 東アジア、東南アジア、南アジア

【実施都市】 海外40の国・地域、135都市、日本国内47都道府県

【実施レベル】 N1～N5の5レベル（N1が最も難易度の高いレベル）

※レベル毎の認定（合格）の目安および詳細は、ウェブサイト（<https://www.jlpt.jp/>）をご覧ください。

### ■海外の応募者数

36万1,365人（2017年第1回より海外全体で15%、東アジアで10%、東南アジアで25%、南アジアで38%増加）  
応募者数の上位3か国・地域とエリアおよび著しく増加率の高かった3か国・地域は以下の表のとおり。

	国・地域		応募者数(人)	前年比増加率
応募者数上位3か国・地域	1位	中国※	149,676	11%
	2位	韓国	49,942	15%
	3位	台湾	42,345	2%
応募者数上位3エリア	1位	東アジア	241,963	10%
	2位	東南アジア	91,947	25%
	3位	南アジア	19,091	38%
その他、増加率の高い国・地域	ミャンマー		16,136	189%
	フィリピン		7,102	24%
	インド		12,268	17%

※香港・マカオを含む。

### ■合格者による試験結果の活用例

- 「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」でのポイント付与（平成29年4月よりN1に加え、N2がポイント付与の対象に）
- EPA（経済連携協定）に基づく看護師・介護福祉士候補者選定の条件（インドネシア、フィリピン、ベトナム）
- 在留資格「留学」の日本語能力要件（N5相当）

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 日本語試験センター（担当：友川）

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp